



# 志摩市制20周年 あたりまえに、ありがとう

～志摩の魅力は十人十色～

## NEWS(PRESS) RELEASE

資料No. 5

令和6年4月26日

観光経済部経済課

タイトル	志摩市地域おこし協力隊（移住定住促進及び地域活性化分野）3名が着任しました
概要	<p>志摩市では地域特性に応じた移住定住促進を図るとともに、行政と地域が一体となり移住者を受け入れ、フォローする移住者支援体制の構築を図ること目的に、地域活性化団体との協働による移住定住の展開を行っております。</p> <p>本年度は、志摩市サーフィン活用推進協議会および（一社）じゃまテラスと連携した取組を予定しており、本取組における主体的な役割を担う人材として、令和6年4月1日付で地域おこし協力隊3名を新たに委嘱しました。なお、すでに令和5年10月より活動を開始している協力隊員 中島健太氏を含め合計4名体制で取組を進めます。</p> 
	<p><b>【新たに委嘱する隊員情報】</b></p> <p>(1) 連携団体：志摩市サーフィン活用推進協議会（2名）            (活動拠点：CO Blue Center（阿児町国府）)</p> <p><b>氏名：濱田 将輝（はまだ まさき） 兵庫県出身 28歳（平成7年生まれ）</b></p> <p>大学卒業後、神戸市職員として勤務。同市在籍中は、行政職員としての業務以外にもボランティア活動や空き家を活用した地域活性化活動等に積極的に参加。サーフィンが趣味で、かねてより頻繁に志摩市を訪れており、志摩市内の知人からの紹介をきっかけに隊員に応募。自身の行政経験や地域活動経験等を活かし、主に国府地区の空き家の利活用推進に向けた取組やサーフィンをきっかけとする移住定住促進等に向けた活動に従事予定。</p> <p><b>氏名：西田 糸亜（にしだ いとあ） 大阪府出身 33歳（平成2年生まれ）</b></p> <p>大学卒業後、アパレルメーカーで勤務後、自身のアパレルブランドを立ち上げ独立。自然環境保護の観点から日本国内産のリネン素材にこだわったアパレルを制作しECサイトを中心に販売。環境問題への関心の高まりから自然豊かな地への移住を意識はじめ、志摩市の自然に魅力を感じるとともに、活動拠点である CO Blue Center の理念に共感し、隊員に応募。自身の創作活動等を通じた地域産品のPR、空き家利活用促進、クリエイターの移住促進・創作活動誘致等に向けた活動に従事予定。</p> <p>(2) 連携団体：（一社）じゃまテラス（1名）            (活動拠点：activity &amp; shared kitchen OKABANA（大王町波切）)</p> <p><b>氏名：藤田 愛里（ふじた あいり） 大阪府出身 33歳（平成2年生まれ）</b></p> <p>大学卒業後、所有する栄養士資格を活かし、小学校の給食調理業務に従事。児童に安心安全の給食を届ける業務に携わる中、部門責任者として学校栄養教諭と連携し食品ロスの低減等に取り組む。地域おこし協力隊活動の見学として波切地区を訪問した際、（一社）じゃまテラスが行う高齢者買い物支援や地域コミュニティ作りに向けた活動に感銘を受け隊員に応募。食を通じた地域の魅力発信や空き家を活用した移住定住促進等に向けた活動に従事予定。</p>

## 【委嘱期間】

令和6年4月1日～令和7年3月31日（延長あり 最長3年間）

## 【ご参考】

### ●地域活性化団体との協働による移住定住の展開

#### （令和6年度 移住定住推進事業負担金）

地域と移住者とのアンマッチを防ぎ、移住後の定着率の向上を図るため、行政と地域が一体となった移住者フォローワー体制構築を図るとともに、多様化する移住希望者へのニーズに対し、より具体的に地域の魅力を伝えるための情報発信や地域特性に応じた生活体験の機会提供等の施策を展開するため、令和5年度より志摩市サーフィン活用推進協議会との連携事業を開始。令和6年度からは、新たに（一社）じゃまテラスとも連携。

### ●連携団体の概要

#### （1）志摩市サーフィン活用推進協議会（主な活動地域：国府地区、志島地区）

日本一の Surf city を目指し、地元サーファー、行政が連携し、サーフィンを活用した地域の活性を図るため、移住定住の促進、地域の若手サーファー育成、サーフィン大会の誘致等の活動に取り組んでいる。

#### （2）（一社）じゃまテラス（主な活動地域：波切地区）

波切地域の持続可能な地域活性化を推進するため、移住促進、空き家・空き地のリノベーションを通した事業者の誘致・支援、マルシェの開催などを通した地域活性化、高齢者買い物支援等の活動に行政と連携し取り組んでいる。

### ●活動拠点の概要

#### （1）CO Blue Center（国府地区）

気候変動・海洋プラスチック問題・地域課題などに適応するソーシャルビジネスを立ち上げる企業を集め環境課題解決に向け様々な事業を展開する複合施設。

同施設を拠点として、企業等による様々な事業や取組が展開されているほか、施設内にはコワーキングスペース・サテライトオフィス・ライブラリー・ギャラリー、コーヒースタンド、サウナ、簡易宿泊施設など機能を有している。

#### （2）activity&shared kitchen OKABANA（波切地区）

大王崎灯台の真横に位置する元真珠販売店テナントを改修した新施設（令和6年5月本格開業予定）。シェアキッチン、飲食スペースなどの設備のほか、屋内キャンプやボルタリングなどのアクティビティも体験できる複合施設。地産の食や絶景を活かしたアクティビティの提供などを通じ地域の魅力発信・観光誘客を図る。



お問合せ先

志摩市 観光経済部 経済課 担当 中村・谷口・森本

TEL 0599-44-0010 FAX 0599-44-5262

e-mail:keizai@city.shima.lg.jp